

サービス産業活動図表集

平成28年2月の第3次産業活動指数の状況

平成28年4月22日

URL:<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

平成28年2月の第3次産業活動指数の状況

月次	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	103.4	105.1	101.4
前月比	▲ 0.1%	0.3%	▲ 1.3%
指数水準	H28.01 103.5以来 ①H23.03 96.5 ②H23.04 98.2 ③H21.05,23.05 98.5	H27.10 105.6以来 ⅠH26.03 107.1 ⅡH27.10 105.6 ⅢH26.01 105.5	H27.12 101.4タイ H27.03 101.3以来 ①H23.03 97.9 ②H23.05 98.1 ③H21.12 98.5
前月比の動き	2か月ぶりー (H27.12以来)	2か月連続＋ (H28.1以来)	2か月ぶりー (H27.12以来)
前月比幅	H27.12 ▲0.4%以来 ①H23.03 ▲4.6% ②H26.04 ▲4.5% ③H20.04 ▲1.7%	H28.01 0.4%以来 ⅠH23.04 3.2% ⅡH26.03 2.6% ⅢH22.03,23.05-06 1.5%	H26.04 ▲5.0%以来 ①H26.04 ▲5.0% ②H23.03 ▲3.9% ③H20.04 ▲2.5%
原指数 前年同月比	2.3%	2.1%	2.4%
前年同月比の動き	2か月連続＋ (H28.01以来)	3か月ぶり＋ (H27.11以来)	11か月連続＋ (H27.04以来)
前年同月比幅	H27.06 2.4%以来 ⅠH24.03 4.7% ⅡH24.05 4.0% ⅢH24.04 3.3%	H27.06 2.3%以来 ⅠH24.03 7.4% ⅡH24.04 4.6% ⅢH24.05 3.8%	H27.11 2.5%以来 ⅠH24.05 4.1% ⅡH26.03 3.3% ⅢH27.04 3.1%

1) ▲はマイナス

2) Ⅰ～Ⅲは平成22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

平成28年2月

「第3次産業活動は一進一退ながら一部に弱さがみられる」

基調判断の推移

- ・平成27年1月～4月
「持ち直している」
- ・平成27年5月～6月
「足踏みがみられる」
- ・平成27年7月～9月
「横ばい傾向」
- ・平成27年10月
「持ち直しの動きがみられる」
- ・平成27年11月
「一進一退」
- ・平成27年12月～
「一進一退ながら
一部に弱さがみられる」

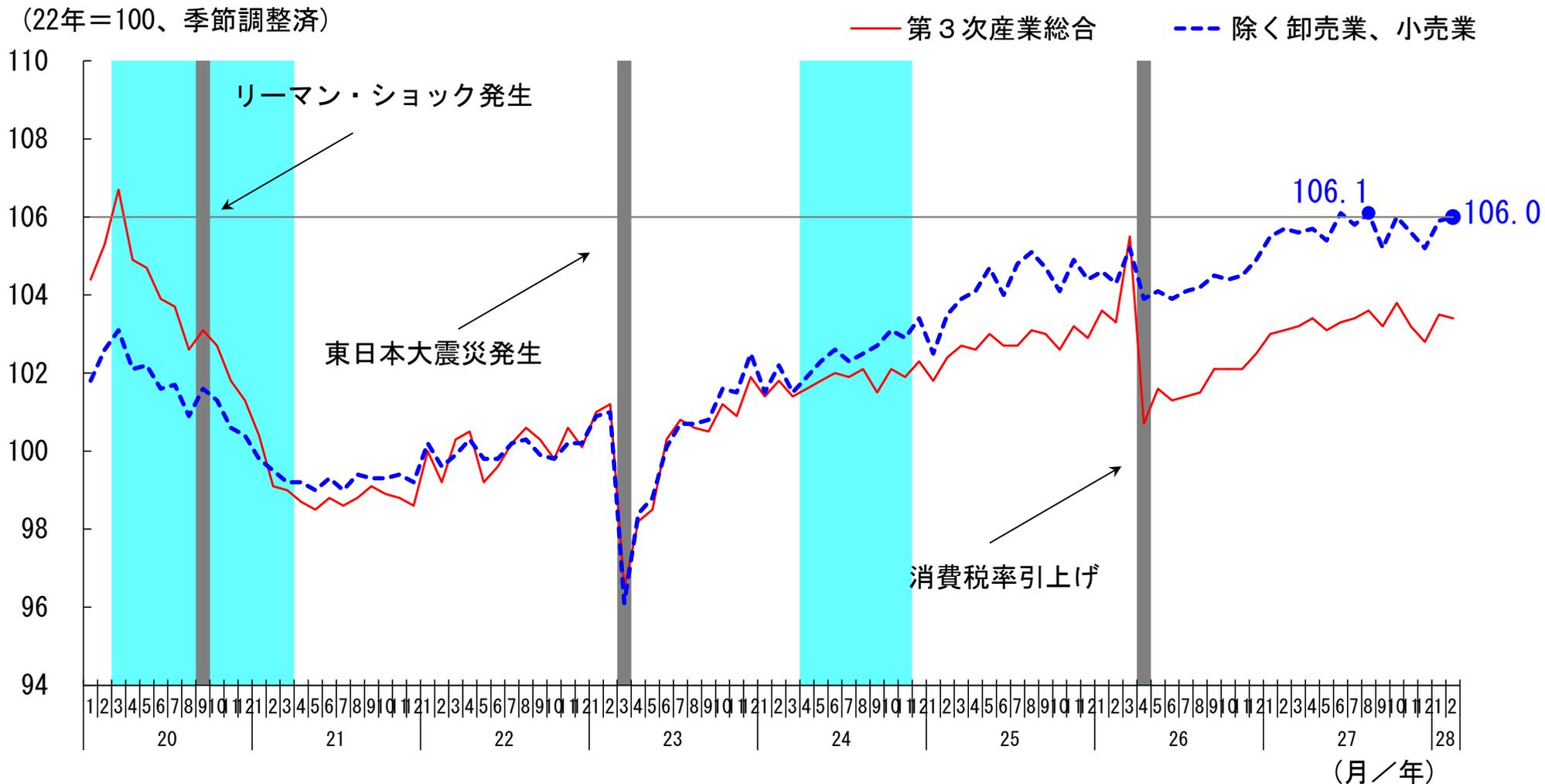
(27年1月より基調判断を実施)

	第3次産業 総合	前期比(%)	
		前期	比(%)
26年	I期	104.1	1.2
	II期	101.2	▲2.8
	III期	101.7	0.5
	IV期	102.2	0.5
27年	I期	103.1	0.9
	II期	103.3	0.2
	III期	103.4	0.1
	IV期	103.3	▲0.1

	第3次産業 総合	前月比(%)	後方3か月		
			移動平均	前月比(%)	
26年	1月	103.6	0.7	103.2	0.0
	2月	103.3	▲0.3	103.3	0.1
	3月	105.5	2.1	104.1	0.8
	4月	100.7	▲4.5	103.2	▲0.9
	5月	101.6	0.9	102.6	▲0.6
	6月	101.3	▲0.3	101.2	▲1.4
	7月	101.4	0.1	101.4	0.2
	8月	101.5	0.1	101.4	0.0
	9月	102.1	0.6	101.7	0.3
	10月	102.1	0.0	101.9	0.2
	11月	102.1	0.0	102.1	0.2
	12月	102.5	0.4	102.2	0.1
27年	1月	103.0	0.5	102.5	0.3
	2月	103.1	0.1	102.9	0.4
	3月	103.2	0.1	103.1	0.2
	4月	103.4	0.2	103.2	0.1
	5月	103.1	▲0.3	103.2	0.0
	6月	103.3	0.2	103.3	0.1
	7月	103.4	0.1	103.3	0.0
	8月	103.6	0.2	103.4	0.1
	9月	103.2	▲0.4	103.4	0.0
	10月	103.8	0.6	103.5	0.1
	11月	103.2	▲0.6	103.4	▲0.1
	12月	102.8	▲0.4	103.3	▲0.1
28年	1月	103.5	0.7	103.2	▲0.1
	2月	103.4	▲0.1	103.2	0.0

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

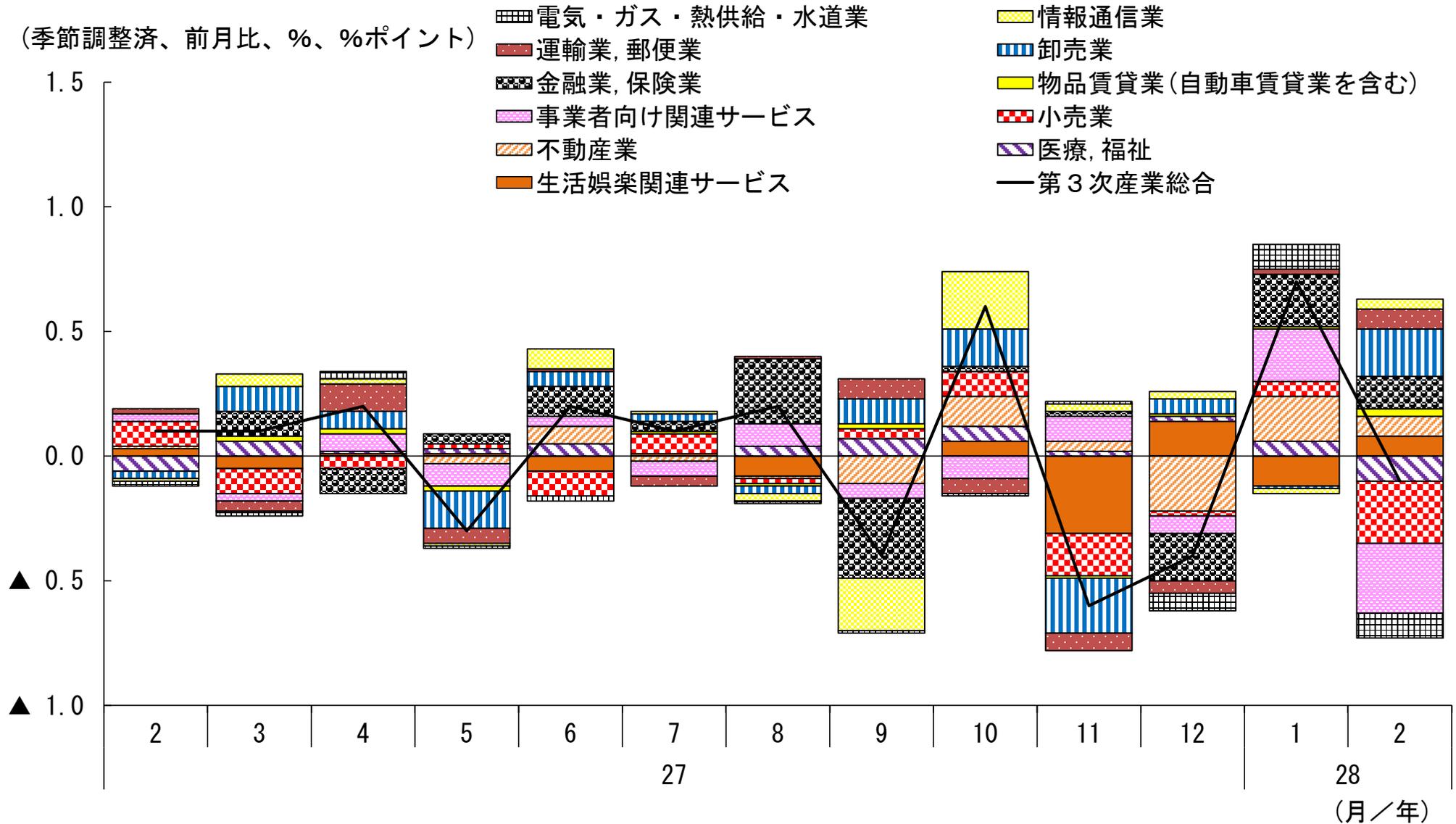
- ・平成28年2月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、106.0(前月比0.1%)と2か月連続の上昇。
- ・平成27年8月の106.1以来の指数水準。



(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

第3次産業活動指数への業種別寄与度分解

平成28年2月の第3次産業活動指数は、卸売業などが上昇したものの、事業者向け関連サービスなどが低下したため、前月比▲0.1%の低下。



第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	事業者向け関連サービス	▲ 3.8%	▲ 19.5%
	内訳業種	その他の広告	▲ 8.5%	▲ 2.8%
		公認会計士事務所, 税理士事務所	▲ 3.4%	▲ 1.1%
	2位の業種	小売業	▲ 2.5%	▲ 17.1%
	内訳業種	燃料小売業	▲ 6.8%	▲ 3.9%
		自動車小売業	▲ 3.1%	▲ 2.6%
3位の業種	電気・ガス・熱供給・水道業	▲ 3.8%	▲ 7.0%	
内訳業種	電気業	▲ 6.0%	▲ 5.7%	
	ガス業	▲ 6.6%	▲ 1.7%	
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	卸売業	1.4%	13.3%
	内訳業種	建築材料卸売業	3.6%	1.7%
		医薬品・化粧品等卸売業	1.4%	1.2%
	2位の業種	金融業, 保険業	1.3%	9.3%
	内訳業種	流通業務	1.8%	0.9%
	3位の業種	不動産業	1.1%	5.8%
内訳業種	戸建住宅売買業	10.0%	2.7%	
	マンション分譲業	6.8%	1.8%	

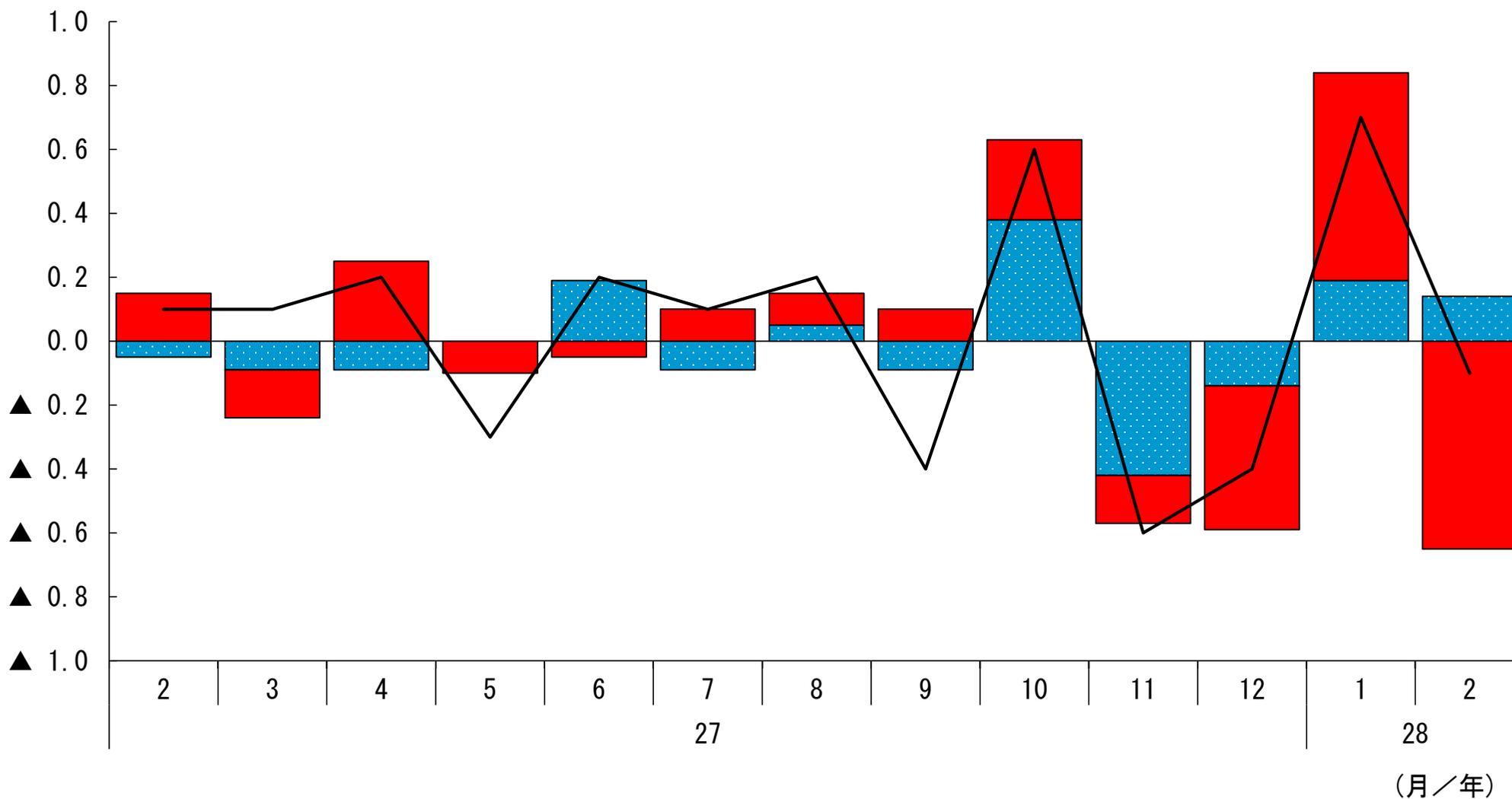
寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動(全体への寄与度)の動向

- 平成28年2月の第3次産業活動指数は、広義対事業所サービスが低下したものの、広義対個人サービスが上昇したため、前月比▲0.1%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 広義対事業所サービス ■ 広義対個人サービス — 第3次産業総合



内訳別にみた広義対個人サービス活動の動向

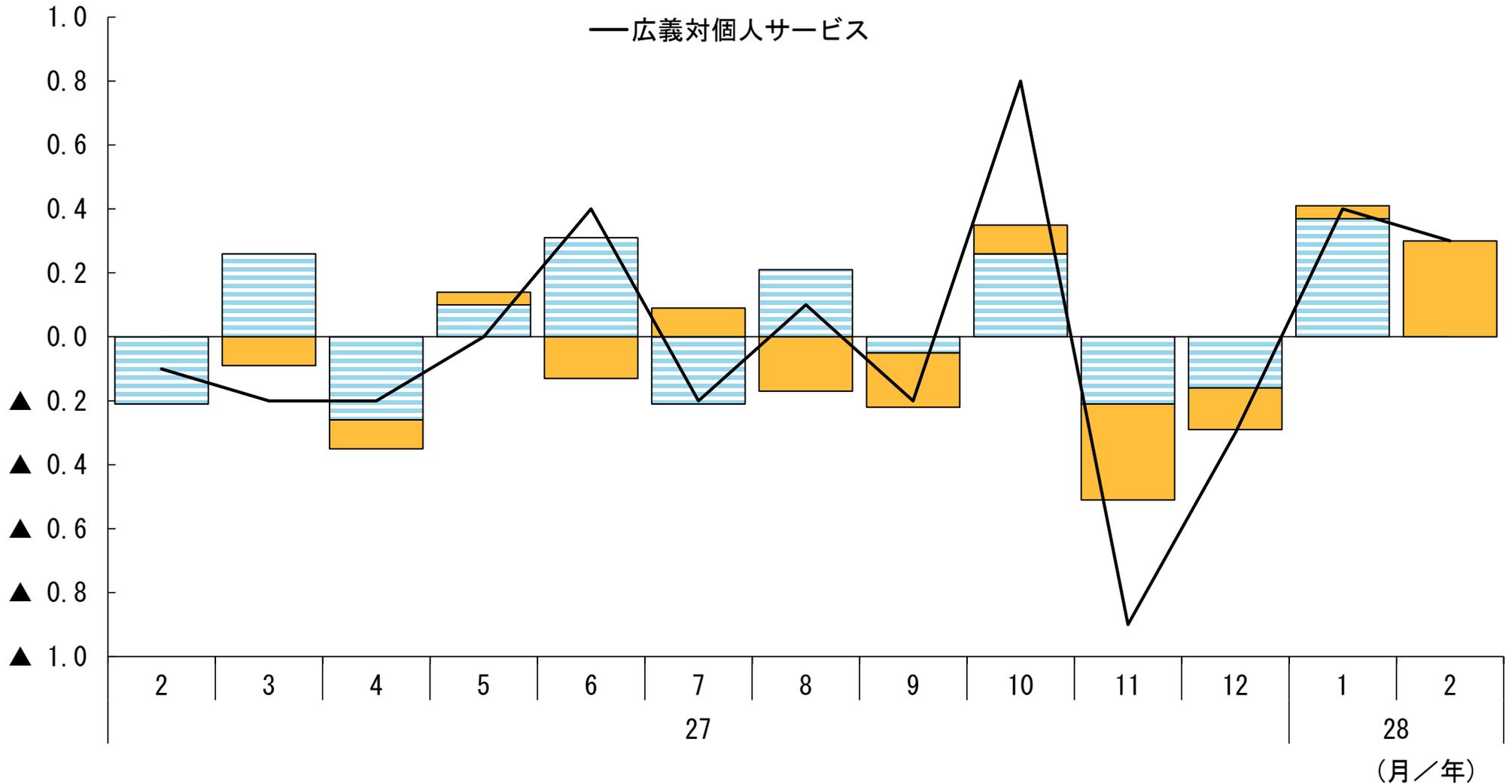
- 平成28年2月の広義対個人サービス活動指数は、広義非選択的個人向けサービスが横ばいだったものの、広義し好的個人向けサービスが上昇したため、前月比0.3%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 広義し好的個人向けサービス

■ 広義非選択的個人向けサービス

— 広義対個人サービス



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

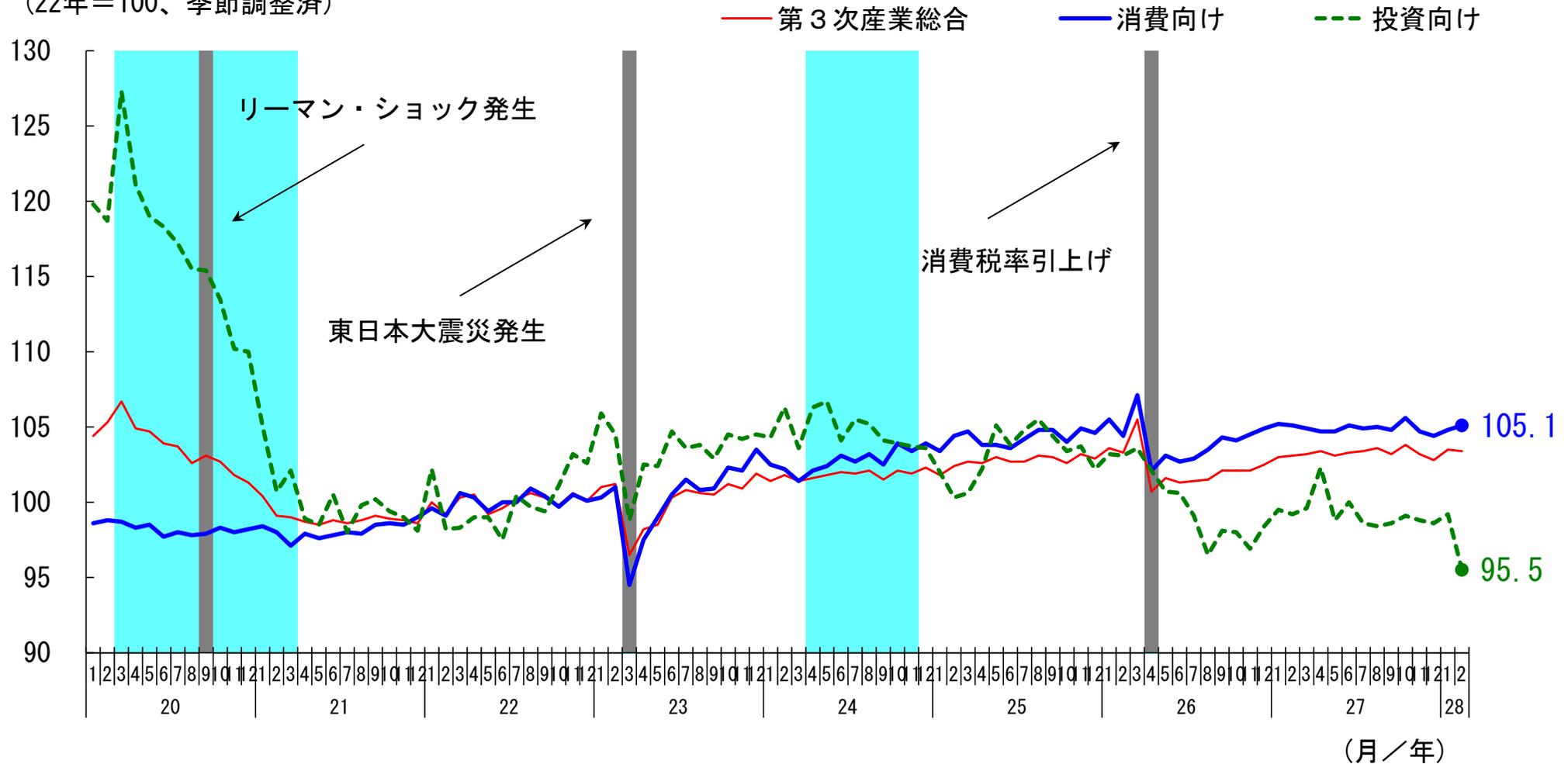
	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	全銀システム取扱高	▲ 3.7%
	電気機械器具卸売業	▲ 3.2%
	他に分類されない広告	▲ 19.9%
	各種商品卸売業	▲ 3.4%
	建設コンサルタント	▲ 7.5%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	農畜産物・水産物卸売業	4.8%
	受注ソフトウェア	1.9%
	金融仲介業務	1.0%
	建築材料卸売業	3.6%
	港湾運送業	4.9%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	ゴルフ場	35.8%
	自動車整備業	10.3%
	食堂, レストラン, 専門店	2.0%
	飲食サービス業	7.5%
	葬儀業	7.2%
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	プロスポーツ(スポーツ系興行団)	▲ 56.3%
	自動車小売業	▲ 3.1%
	普通洗濯業	▲ 7.8%
	織物・衣服・身の回り品小売業	▲ 1.7%
	ゲームソフト	▲ 7.5%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・平成28年2月の消費向けサービス活動指数は、105.1(前月比0.3%)と2か月連続の上昇。
- ・投資向けサービス活動指数は、95.5(前月比▲3.7%)と2か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

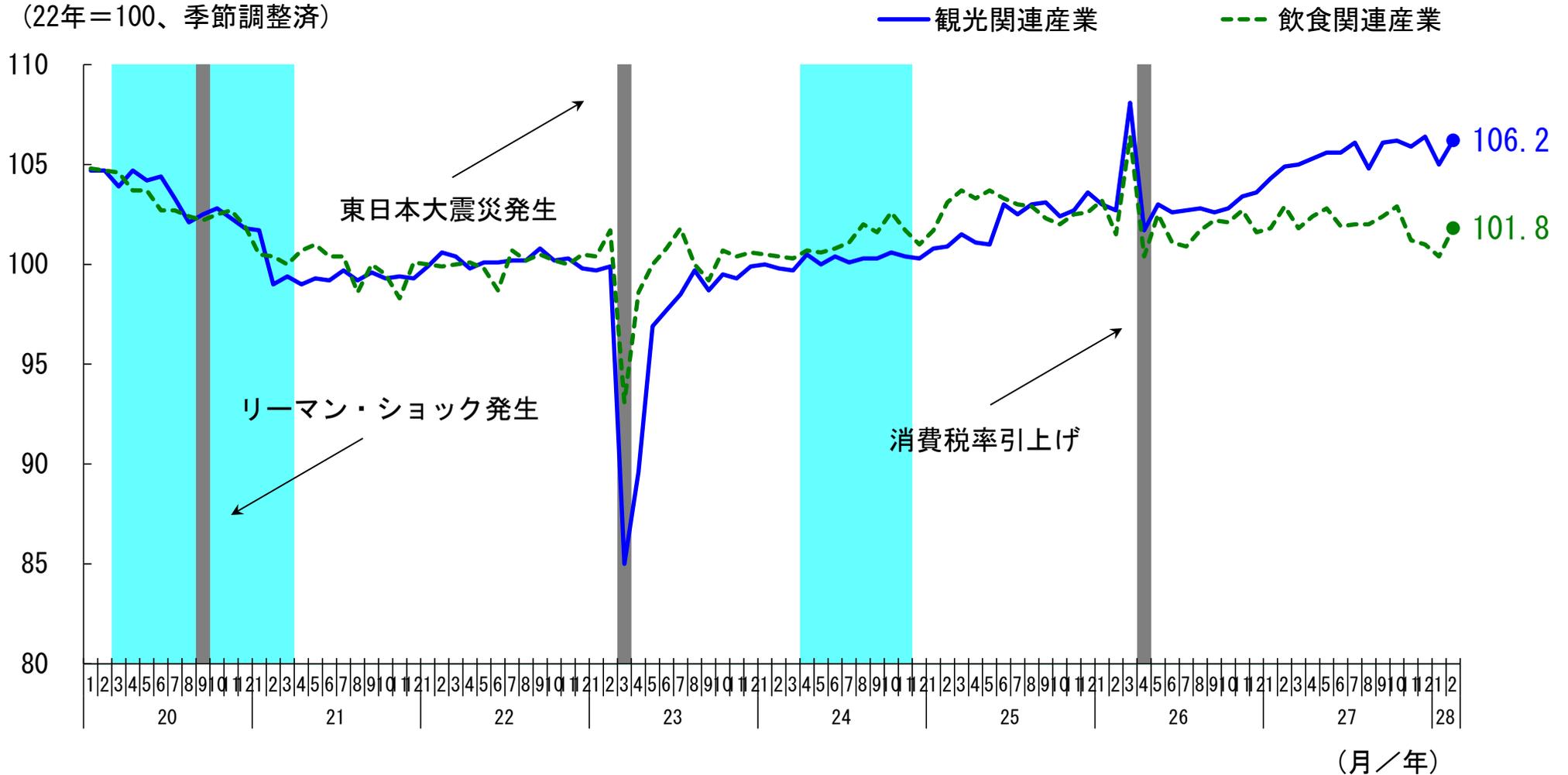


- (注)1. 消費向けサービス活動指数は、非製造業から供給される個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
 投資向けサービス活動指数は、非製造業から供給される民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

- ・平成28年2月の観光関連産業活動指数は、106.2(前月比1.1%)と2か月ぶりの上昇。
- ・飲食関連産業活動指数は、101.8(前月比1.4%)と4か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

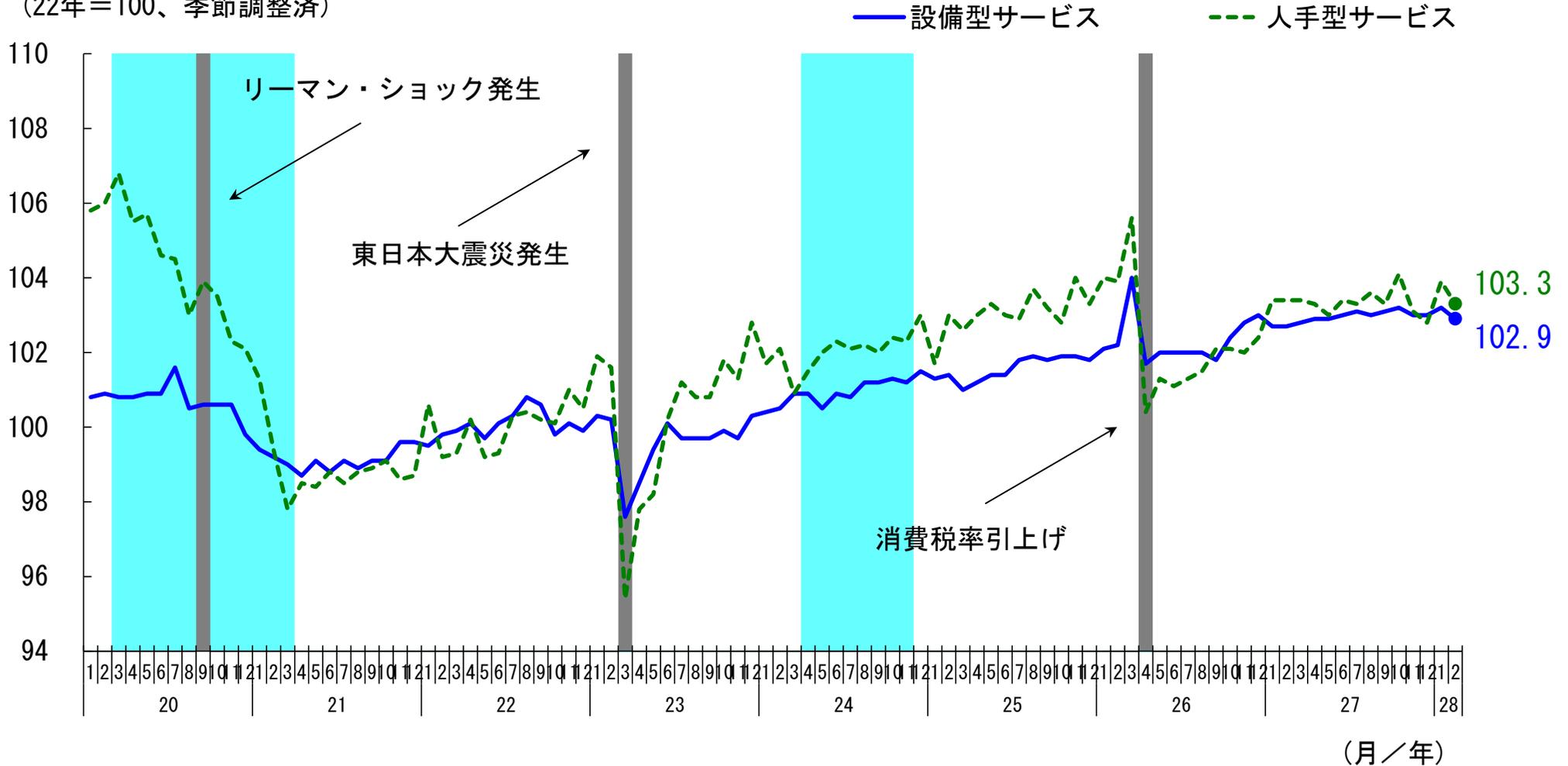


(注)1. 観光関連産業活動指数には、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
飲食関連産業活動指数には、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

設備型／人手型サービス活動指数の動向

- ・平成28年2月の設備型サービス活動指数は、102.9(前月比▲0.3%)と3か月ぶりの低下。
- ・人手型サービス活動指数は、103.3(前月比▲0.6%)と2か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

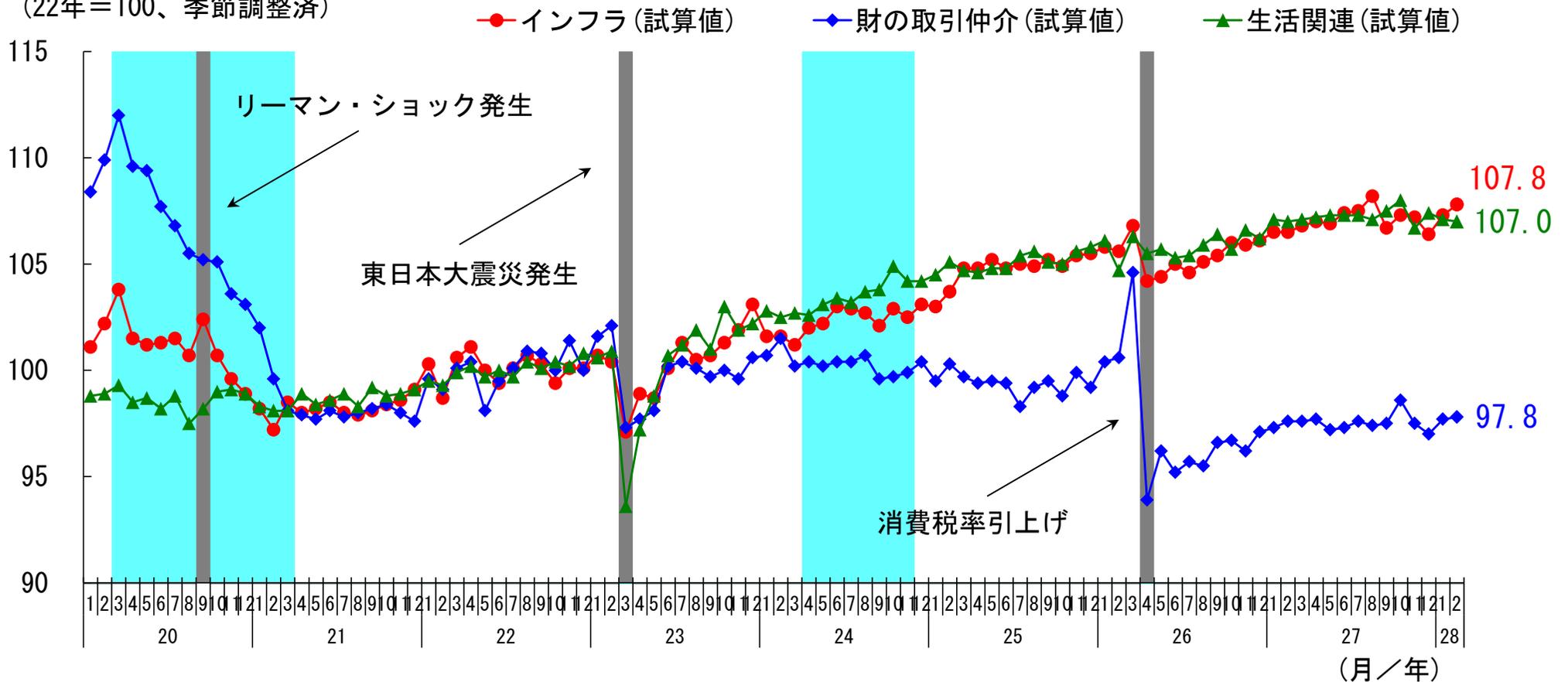


(注)1. 第3次産業総合の内訳系列を「人手」に比べ「設備」をより必要とするタイプのサービスである「設備型サービス」と、反対に「設備」に比べ「人手」をより必要とするタイプのサービスである「人手型サービス」に分割。具体的には、産業連関表の資本減耗と雇用者報酬を比較し、資本減耗の方が大きい系列を「設備型サービス」に、雇用者報酬の方が大きい系列を「人手型サービス」に分類している。
 2. 水色のシャド一部分は景気後退局面。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・平成28年2月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、107.8(前月比0.5%)と2か月連続の上昇。
- ・財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、97.8(前月比0.1%)と2か月連続の上昇。
- ・生活関連型サービス活動指数(試算値)は、107.0(前月比▲0.1%)と2か月連続の低下。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

・インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業

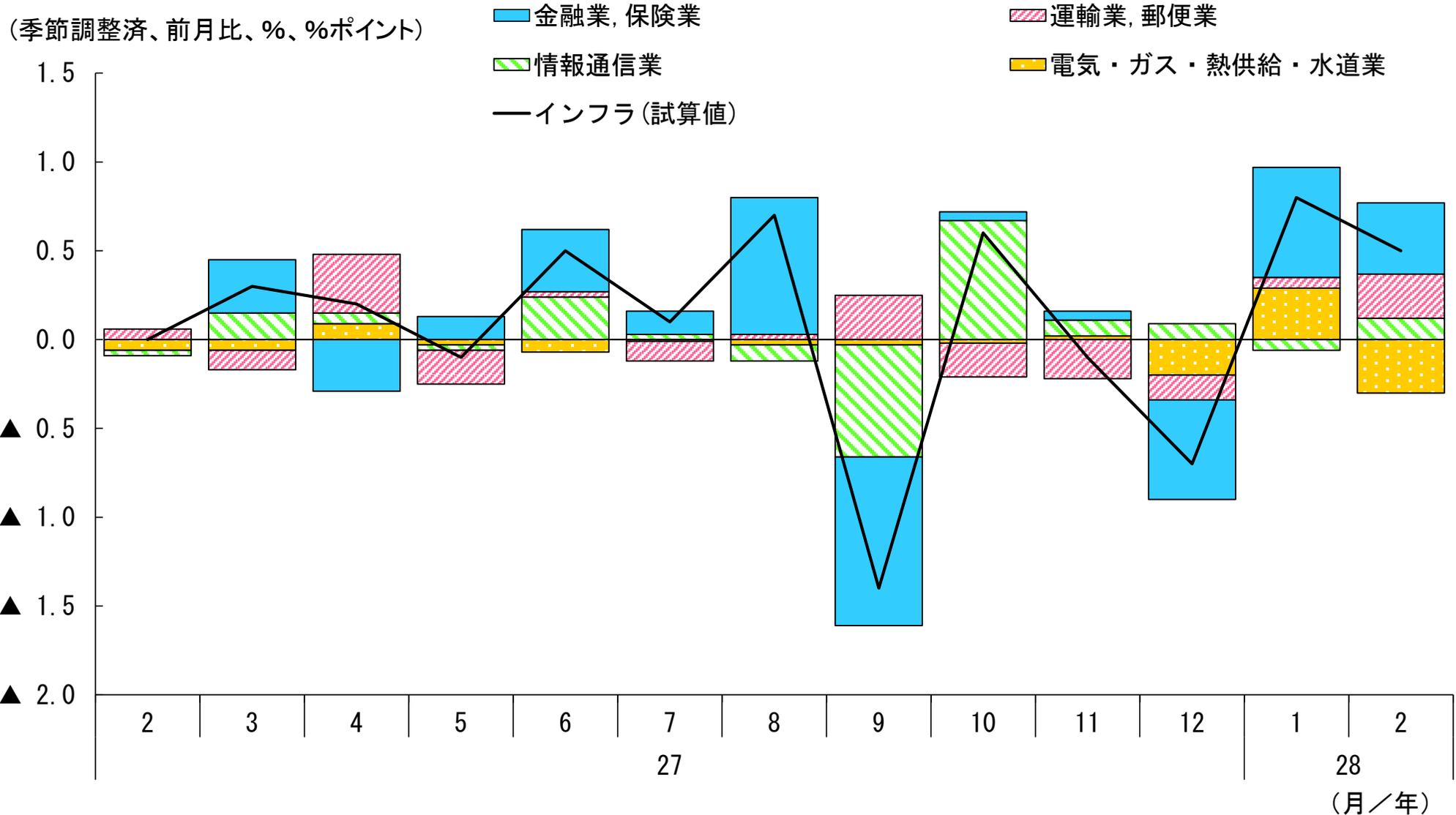
・財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業

・生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

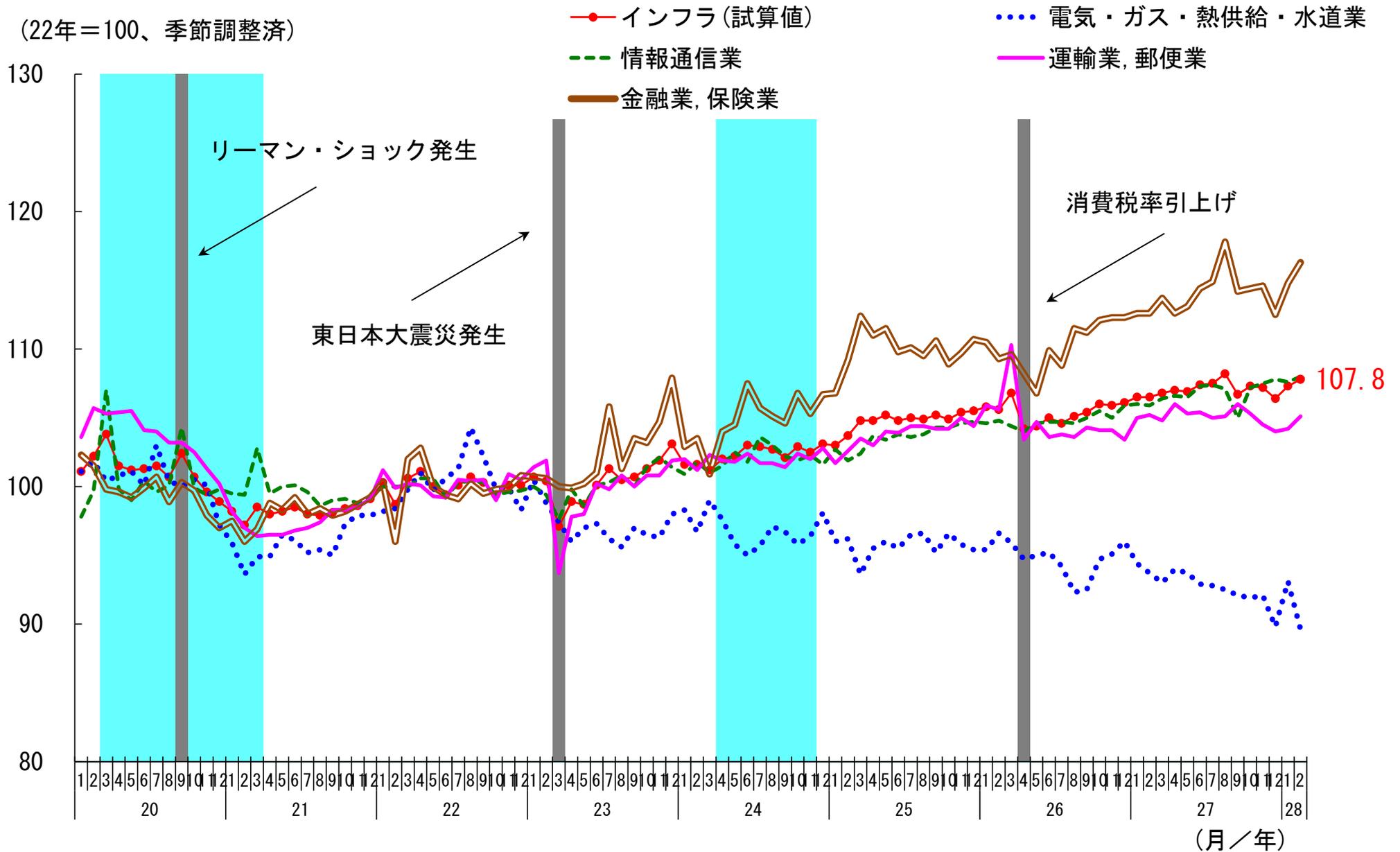
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

インフラ型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

平成28年2月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、電気・ガス・熱供給・水道業が低下したものの、金融業、保険業などが上昇したため、前月比0.5%の上昇。



業種別にみたインフラ型サービス活動の動向

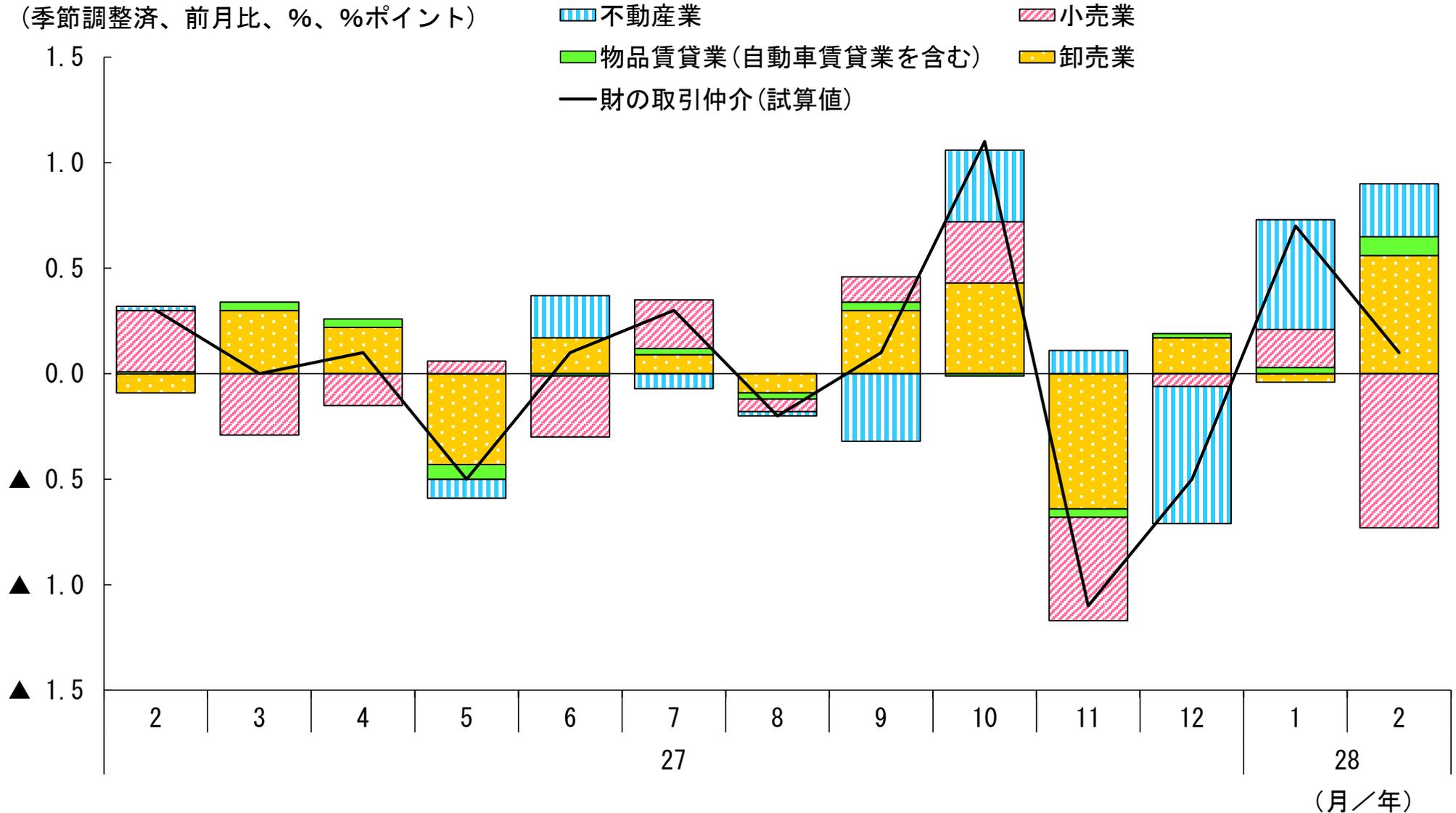


(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

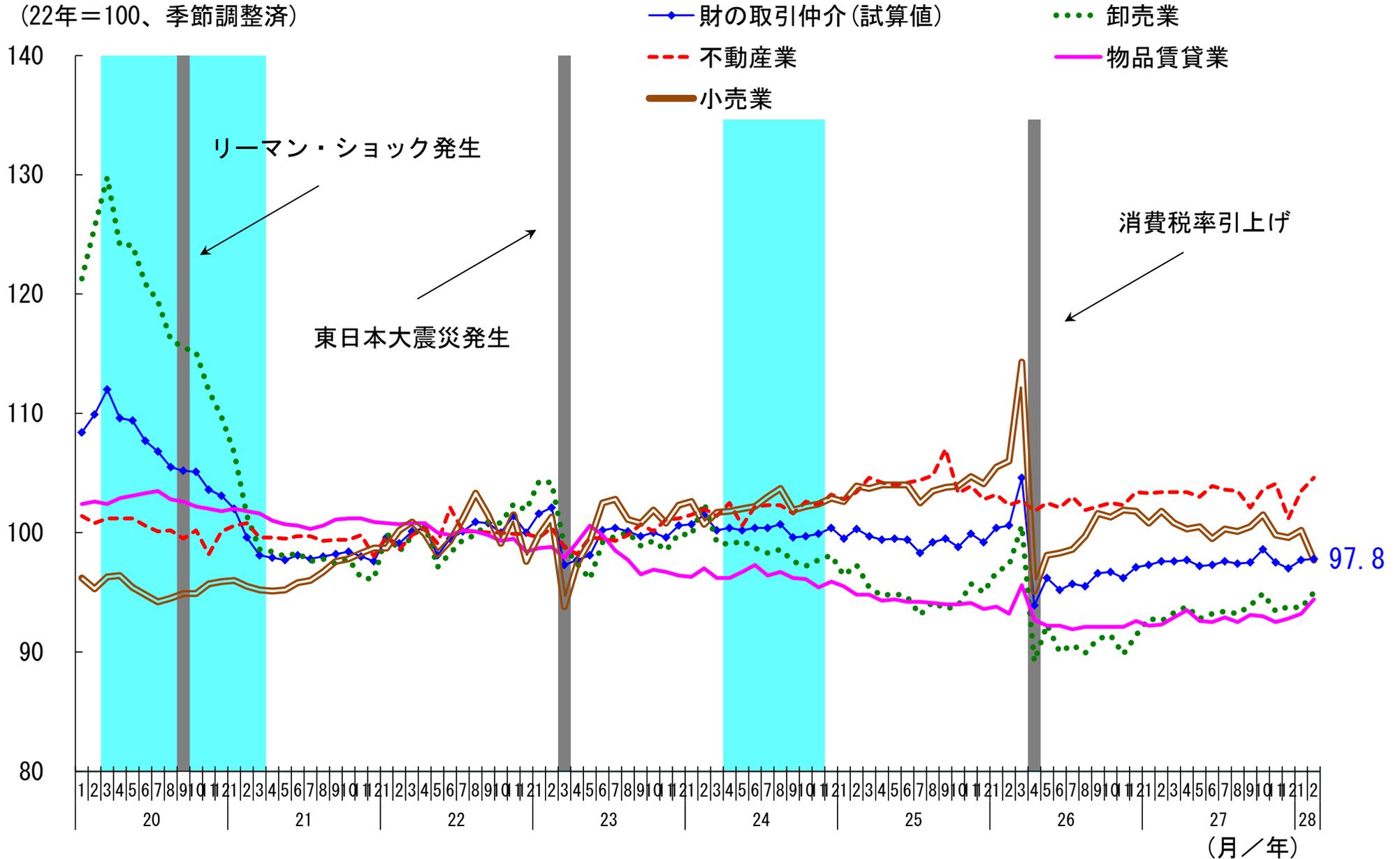
財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

・平成28年2月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、小売業が低下したものの、卸売業などが上昇したため、前月比0.1%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向



(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

生活関連型サービス活動指数(試算値)への業種別寄与度分解

・平成28年2月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、生活娯楽関連サービスが上昇したものの、医療、福祉が低下したため、前月比▲0.1%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

